

### 「私と中国」その③ 一天水を離れて、武漢へ―【サマリー】

訊く人 重森 貝 崙<sup>ばい ろん</sup>

話す人 横山 寛

「私と中国」その①は、1937年(昭和12年)、現在の吉林省・白城子で生まれた横山氏が、その後一家をあげて黒龍江省・チチハル(齊齊哈爾)へ移住し、1950年、甘肅省・天水へ移住するまでの幼・少年時代の話が中心です。

その②は、中学生となった同氏が、海拔3000<sup>ル</sup>、春と秋しかないという気候の甘肅省・天水で、さまざまな珍しい日常生活と学校生活とを体験します。

そして今回、その③の舞台は湖北省の省都・武漢です。武漢は武漢鋼鉄公司や車輛メンテナンス拠点を備えた工業地帯であり、この文化水準の高い都市での学校生活を中心、そして1953年(昭和28年)5月、上海から船出してまだ見ぬ故国・日本の土を踏むまでの話です。